



PRESS RELEASE

岡山大学記者クラブ加盟各社 御中

令和 4 年 4 月 22 日
岡 山 大 学

ダンスで防災を学ぼう！ 防災教育教材「ぼうさい PiPit！ダンス」を開発



あんしんの森の住人 AJ

◆発表のポイント

- ・ダンスで身体を動かしながら、防災の知識や行動を学ぶ教材「ぼうさい PiPit！ダンス」を開発しました。
- ・本取組は、岡山大学×こくみん共済 coop 岡山推進本部×岡山市×内閣府の産官学連携体制で行っています。
- ・PV や解説が収録された DVD と音楽 CD のパッケージ教材を、先着 100 枚無償で配布します。

近年、大規模な自然災害が頻発していることを受けて、岡山大学×こくみん共済 coop 岡山推進本部×岡山市×内閣府の産官学連携体制により、ダンスで防災を学ぶ教材「ぼうさい PiPit！ダンス」を開発しました。

この教材では、ダンスで身体を動かしながら防災に関する 3 つの心構え（①災害発生時すぐに動けるように備える・②危険の有無や備蓄を確認する・③周りの人と助け合う）を学ぶことができます。簡単な動きですぐに覚えることができるので、子供から高齢者までの多世代で実施可能です。また、キャラクターを活用したマーケティング戦略として、連携企業のこくみん共済 coop の公式キャラクター「ピットくん」と同じ世界で暮らす「あんしんの森の住人 AJ（エージェー）」をイメージキャラクターとして誕生させました。ダンスの動きや音楽は、AJ の世界観を核に、本学の学生がアイデアを出し合って製作しました。

教材の有効性を検証した結果、防災の「堅苦しい」などのネガティブなイメージが払拭されるなど、教材の実践により防災意識が向上することが明らかになっています。この研究成果は、日本安全教育学会学術誌や日本教育工学会、舞踊学会で発表しています。

PV や解説が収録された DVD と音楽 CD のパッケージ教材は、先着 100 枚無償で配布します。学校・家庭・地域・企業・行政などさまざまな場面で活用いただける教材です。たくさんのお問い合わせをお待ちしております。

◆企画・運営学生チームからのひとこと

「防災を身近に感じてほしい」と考えています。そのための最初のステップとして、この教材は誰でも出来る簡単な動きで構成しています。防災ダンスを使って、多くの人に楽しみながら防災を学んで欲しいです。



岡山大学学術研究院酒向治子研究室
ゼミ生一同



PRESS RELEASE

■発表内容

<現状>

岡山県を襲った西日本豪雨をはじめ、日本全土で大規模な自然災害が多発しており、地域の防災力を向上させる必要性が高まっています。一方、現代においては家族形態が変化し「地域のつながり」が薄れ、更には新型コロナウイルスのパンデミックにより一層深刻化しており、災害時に家族以外と共に助け合う「共助」を困難にしています。これを受けて、本学の学生がこの課題を解決するために「共助」の土台となる地域活性化に寄与できる防災教育教材の必要性を強く感じたことが開発のきっかけです。

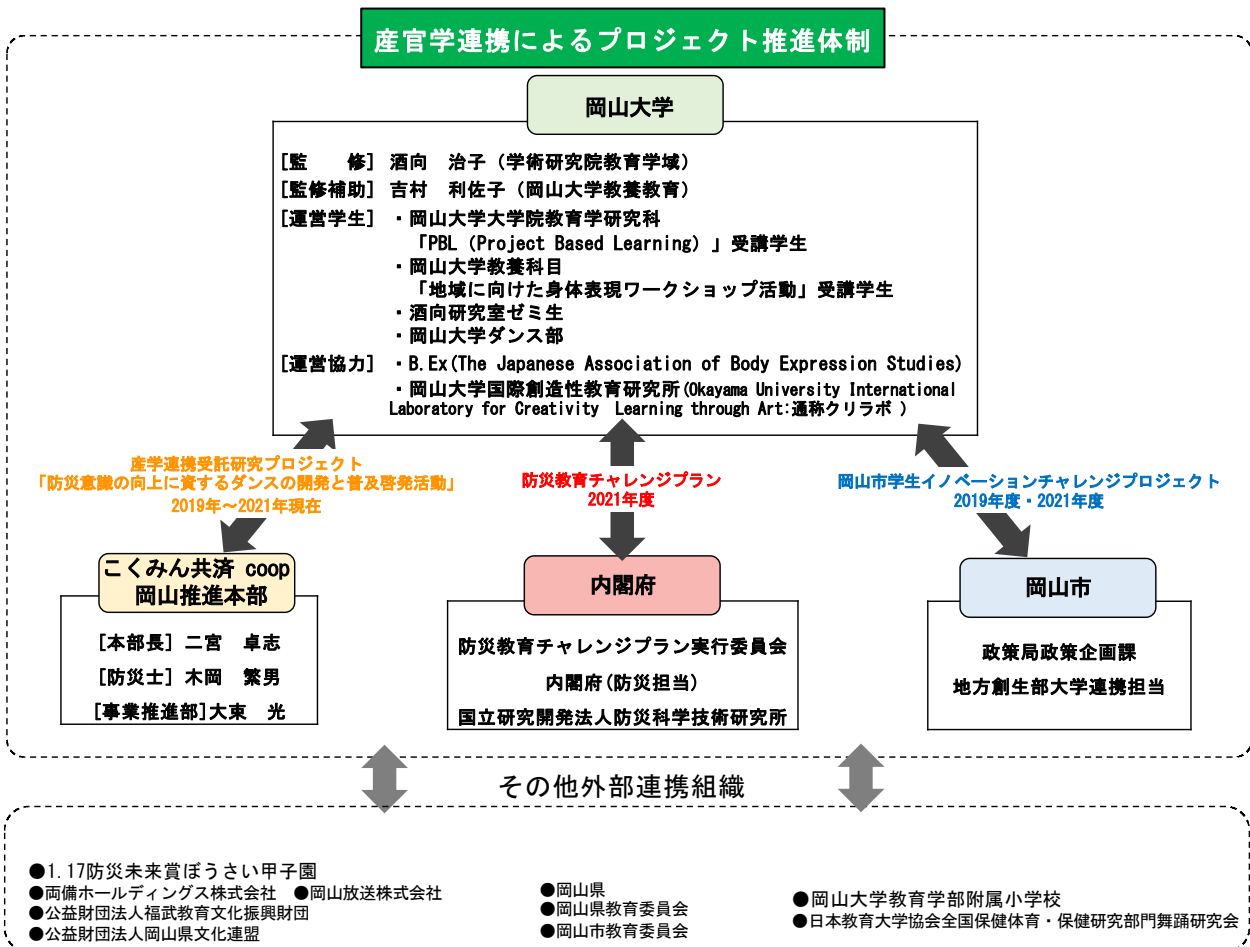


こくみん共済 coop 公式キャラクター
ピットくん

<成果の内容>

産官学連携によるプロジェクト推進体制

岡山大学の学生が企画運営の中心となり、企業・行政との産官学連携体制で取り組んでいます。



これまでの実績

本プロジェクトでは、2019年度より①地域における共助の促進、②防災活動のイメージ向上を目指して取り組んでいます。具体的には、子どもからお年寄りまで誰もが気軽に身体を動かしながら防災について学習できるための「ぼうさい PiPit!ダンス」（以下「防災ダンス」とする）を開発しま



PRESS RELEASE

した。この防災ダンスはこくみん共済 coop と共同で行っている事業で、こくみん共済 coop の公式キャラクター「ピットくん」と同じ世界で暮らすキャラクター「AJ」（あんしんの森の住人）を作成し、AJ と共に防災について学ぶことをコンセプトとしています。

防災ダンスの振り付けには、災害時に必要な①動けるように備える、②確認する、③助け合い といった3つの心構えが動きとして取り入れています。さらに簡単な動きを繰り返し取り入れているため、幅広い年齢の方が一同に取り組めるようになっています。また防災ダンスの曲は一度聞くだけで頭に残るような工夫が施されており、実際に幼稚園や小学校で防災ダンスを実施した際に、多くの子どもたちが、歌詞を口ずさんでいる様子も見ることが出来ました。

これまでの主な活動としては、防災ダンスの開発や、それらを幅広い地域に広めるために、CD・DVD の作成や教育現場で実際の教員に授業の中で実施していただけるように、指導書や子どもたち向けのリーフレットなども作成しています。また幼稚園から大学までの各学校現場で防災ダンスを用いた防災教育を実施しており、さらに多世代が集まる場である大型商業施設では、「授業中に突然地震が発生する」といったシナリオを設定し、単に防災ダンスを踊るのではなく、観客と一緒に防災ダンスを実施するなど双方向の取り組みも行っています。



DVD・CD パッケージ教材



映像教材アクセス QR コード

主な教育実践・普及啓発歴

日程	対象者/イベント名	人数/実施場所
2019年12月	岡山大学教育学部附属小学校児童	50名 岡山シンフォニーホール
2020年12月	倉敷天城保育園園児	71名
2021年3月	岡山市立平井小学校5年生	30名
4月	「みんなの防災フェスティバル」	300名 イオンモール岡山
7月	岡山県立倉敷青陵高等学校生徒	60名
8月	岡山大学教育学部大学生	70名
12月	岡山大学教育学部附属中学校生徒	40名
7月	岡山県立倉敷青陵高等学校生徒	60名
8月	岡山大学教育学部大学生	70名
12月	岡山大学教育学部附属中学校生徒	40名



PRESS RELEASE

受賞歴

- ・岡山市「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」
審査員特別賞（2019年度）
- ・兵庫県「ぼうさい甲子園」
UR レジリエンス賞（2020年度）・しなやか with コロナ賞（2021年度）
- ・岡山大学「第1回岡山大学 SDGs 推進表彰（President Award）」
奨励賞（2020年度）

<社会的な意義>

本教材を実践することで、災害時に重要となる共助の土台を育み、地域の人々の防災意識を向上させることができます。岡山県を中心に、日本全国で教材の普及啓発を進め、多くの人に防災を身近に感じてもらいたいと考えています。

■論文情報

論文名：ダンスを用いた防災教育教材が防災活動イメージに及ぼす影響

掲載紙：安全教育学研究第21巻第1号

著者：吉村利佐子・尾関美喜・酒向治子

論文名：ダンスを用いた社会課題の解決の試み
—防災ダンス教材『ぼうさいPiPit!ダンス』の開発—

掲載紙：岡山大学大学院教育学研究科研究収録 第178号

著者：吉村利佐子・酒向治子

DOI: <http://doi.org/10.18926/bgeou/63019>

URL:

https://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/files/public/6/63019/20211220140215300871/bgeou_178_069_079.pdf

■プロジェクト資金

本活動は、岡山大学におけるこくみん共済 coop 中四国統括本部からの受託研究プロジェクト「防災意識の向上に資するダンスの開発と普及啓発活動」、内閣府等主催「防災教育チャレンジプラン」、岡山市主催「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」、独立行政法人「日本学術振興会科学研究費補助金」（20K02734）の支援を受けて実施しました。



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



<お問い合わせ>

岡山大学 学術研究院教育学域

教授 酒向 治子

（電話番号・FAX）086-251-7667